

津屋崎山笠300年、節目の里帰り

津屋崎山笠保存会が博多祇園山笠振興会を訪問しました



▲津屋崎山笠保存会が博多山笠振興会に訪問の記念品を贈りました

津屋崎祇園山笠の発足から今年で300年を迎えるに当たり、6月1日、津屋崎山笠保存会が博多山笠振興会との交流のため、櫛田神社を訪問しました。

津屋崎祇園山笠と博多祇園山笠は、櫛田神社から波折神社に祇園神を迎えて始まったという歴史的な繋がりがあります。今回の交流では、これまで以上に、互いを身近に感じる契機となったことに加え、山笠の源流である博多祇園山笠から多くのことを学び、津屋崎祇園山笠の、いっそうの発展につなげるきっかけとしたいとのことでした。

世界に発信すべき芸術家と認められました

国際美術評論家選考委員会スペイン本部芸術家会員に推挙



▲推挙する旨の書状を手にする田中さん(左)と小山市長 後ろの絵は田中さんの作品です

田中敬一さん(宮司3区)が国際美術評論家選考委員会(A.M.S.C)スペイン本部芸術家会員に推挙されたことを5月21日、小山市長に報告しました。

A.M.S.Cはスペインに本部を持つ美術家の選考機関で、国際的に評価されるべき美術家の発掘や顕彰事業を行っています。田中さんはこれまで国内外の公募展で数々の賞を受賞しており、その功績を考慮して芸術家会員に推挙されました。

今後、田中さんを含めた世界中の芸術家会員の名を刻んだ記念碑がスペインに建立され、国際美術書籍に作品が紹介されるそうです。

菖蒲で感じる初夏の訪れ

宮地嶽神社で江戸菖蒲初刈り神事

5月31日、宮地嶽神社の民家村菖蒲苑で、江戸菖蒲を神前に供える神事が行われました。白い狩衣姿の神職が、今年咲いたばかりの菖蒲を刈り取り、色鮮やかな装束をまとった巫女が、神楽に合わせて舞を奉納しました。

神社では、御祭神である女神様のために、年間を通して四季折々の花を育てています。初夏に境内を彩る菖蒲は100種10万株におよび、その美しさと壮大な景色は訪れた人を楽しませてくれます。



▲神職が刈り取った菖蒲を神前に供える巫女



▲小山市長に印影を入れた額を手渡す津屋崎郵便局の前田局長(右)と原作者の林さん(左)



◀手前に津屋崎干軒、奥に新原・奴山古墳群を描き、全体の形は津屋崎干潟のカブトガニをイメージしたデザインです

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのおだい

〒811-3293(住所不要) ☎0940-43-8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつつ

津屋崎の風景がはがきと共に全国へ

津屋崎郵便局が風景日付印の印影を市長に贈呈

津屋崎地域の風景をモチーフにした風景日付印を津屋崎郵便局が作成したことに伴い、6月5日、同局長の前田太さんと原作者の林文さんが小山市長に日付印の印影を贈呈しました。

これまで津屋崎郵便局には風景日付印が無かったため、津屋崎地域にちなんだデザインを広く公募。小山市長、市商工会会長、市観光協会会長の審査により林さんのデザインが選ばれました。

林さんは「規定のサイズ内でカブトガニを表現するのが難しかった。これから長い期間、自分がデザインした日付印が全国に向けて使われるのがうれしい」と語っていました。

この風景日付印は、津屋崎郵便局で希望者に対して押印してもらえます。

市民広報
ボランティア

海岸と干潟で清掃活動



6月8日、福間海岸や津屋崎海岸、津屋崎干潟などでラブアース・クリーンアップ2014がありました。市長のあいさつの中で、その意義をしっかりと話いただきました。その後、各ボランティア団体による清掃活動できれいな海岸になりました。海水浴客も安心して海を利用できます。

大きなカエルが川の川上から流れてきて参加してくれたり、ワンワンも皆さんに協力してくれたりしたようです。何十袋ものごみが回収できて、すがすがしい日になりました。【徳永孝志】

宮地嶽神社菖蒲祭りの準備



九州随一といわれる江戸菖蒲苑のある宮地嶽神社で5月31日から6月15日まで菖蒲祭りが開催されました。それに先立ち、5月29日に祭りの準備の様子を見学させていただきました。

木枠にビニールシートを敷いて水を張った簡易水槽に、宮司さんや業者の人たちが位置を確認しながら菖蒲を並べていきます。日中の暑いさなかの作業が終わると、境内は色とりどりの菖蒲で埋め尽くされました。

【福岡信一】

藤間波奈敬千社中の日本舞踊ステージショー



5月21日、夕陽館で「藤間波奈敬千社中」の日本舞踊ステージショーがあり、藤間先生をはじめ女性3人、男性2人が出演しました。藤間先生の「花笠音頭」やベア歴が長い藤間先生と高石さんによる「二輪草」など全8曲を披露。観客の松島さん(星ヶ丘)は、「良かった」と満喫していました。

踊りについて尋ねると、藤間先生は「五感を使い頭から指先まで稽古が大切」と奥深さを話されました。出演者の情熱が見る人を魅了するステージでした。【櫻井紀子】

あなたの周りの身近な出来事や
話題をお寄せください。

まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎0940-43-8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

市制10周年を盛り上げるためにがんばるっ隊! 『ぶんぶん丸』が『ふくつがんばるっ隊』に 任命されました

6月5日、吉本興業所属の芸人「ぶんぶん丸」の『ふくつがんばるっ隊』任命式がありました。ぶんぶん丸は4月のよっちゃん祭や5月の鯛茶づけフェアPRイベントなどにもプレ活動として参加しましたが、今回小山市長から正式にPR大使として任命。「福津市と共にがんばっていただきたい」という言葉と共にタスキを託されました。

「今年1年、精いっぱい福津市を盛り上げていきます」と抱負を語る二人は、「福岡県住みます芸人」としてこれまで北九州市や筑後市などで地域を盛り上げる活動を行ってきた実績の持ち主。今後開催される市制10周年記念事業などのさまざまなイベントに参加して、大いに盛り上げてくれます。ご期待ください!



▲小山市長から任命された『ぶんぶん丸』の池田義之さん(左)と山田直樹さん(右)



▲6月7日には市民の皆さんと一緒に田植え体験に参加
子どもたちに大人気でした

募金してくれた皆さんの善意に感謝

昭和学園に新しいバスがやって来ました

6月16日、昭和学園に新しいマイクロバスが納車されました。これまで家族会から寄贈されたバスは長年の利用により老朽化が目立ち、維持費も高額になってきていたため、新たに購入したものです。県共同募金会が行っている「赤い羽根共同募金」の助成を受けることで、購入が実現しました。

新しいバスは、施設利用者の自宅までの送迎や社会適応訓練、地域活動に参加するための移動手段などとして活用されます。



▲新しいバスは29人乗りです

みんな大好き! わが家の宝

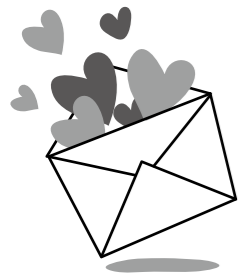


ちくば はるか
竹馬 陽花ちゃん
平成25年7月15日生
花見1区
わが家のアイドルはるちゃん♪毎日その笑顔に癒やされてます!
ヒマワリのように元気に明るい女の子になっってくださいね!

かなはら そつすけ
(下)金原 蒼佑ちゃん
平成25年7月7日生
かなはら ゆつと
(上)金原 悠人ちゃん
平成21年9月29日生
天神町区



人まねが上手になり、最近はやんちゃなお兄ちゃんのまねばかり。
いつまでも仲良し兄弟でいてね。



おたより寄せちゃってんしゃい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゃい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。
※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

お手数ですが
52円切手を
お貼りください

フリガナ _____

◎ 氏名 _____

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女 _____

◎ ペンネームまたはイニシャル _____

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所 〒 _____

◎ 電話() _____

福津市役所広報秘書課
広報広聴係 行

ふくつ便

自由投稿コーナー
聞いてちゃってんしゃい



問い合わせ
福津市広報秘書課
(福岡庁舎)
☎0940-43-8113



▲あぜのまち絵本美術館館長の田中時彦さん
北九州市漫画ミュージアムの館長でもあります



▲昭和をテーマにしたどこか懐かしい田中さんの絵は、
見る人の心を温かくしてくれます

築100年の古民家が生まれ変わりました 畦町に“あぜのまち絵本美術館”がオープンしました

6月22日、畦町の古民家を改築して“あぜのまち絵本美術館”がオープンしました。

館長は宗像市在住の童画家 田中時彦さん。田中さんがこれまで使っていたアトリエに代わる広い場所を探していた時に、畦町の“ざらりい畦”の岩熊さんから紹介されたのが古民家との出会いでした。当初、美術館のことは考えていなかったという田中さん。アトリエとしては広すぎる物件でしたが、「ギャラリーとして展示スペースを設けてみては」という提案が美術館開館のきっかけとなりました。

館内には田中さんが描いた作品を中心に、およそ20点の原画が展示されています。また、田中さんの作品を収めた絵本もあり、自由に読むことができます。

しっとりと落ち着いた雰囲気の中で、田中さんが描く昔懐かしい作品に触れてみませんか。

- 場所 畦町393(護念寺の向かい側)
- 開館日時 土・日曜日 11:00~17:00
※開館日は変更になる場合があります
- 入館料 500円
- 電話 0940-62-6350